

一般社団法人小金井市観光町おこし協会
 まちと遊びまちから学ぶインターンシップ

プログラム概要	： 小金井市観光町おこし協会にて観光PRの作成やイベント体験学習、企画作成
実習先	： 一般社団法人 小金井市観光町おこし協会（東京都小金井市）
実習先情報	： 平成28年創業の小金井市観光町おこし協会は、小金井市の観光復興を図り、文化の向上と産業の発展に寄与することを目標として設立された
参加人数	： 2名
学部学科	： 人間科学部、人間科学科
実習期間	： 令和4年8月9日～8月23日
本学担当教員	： 飯田信夫（教育学科）

○はじめに

【目標】

- ・小金井市の魅力を多くの人に発信する方法を学ぶ
- ・小金井市の方々と多くのコミュニケーションを取り、よいところなどを学ぶ
- ・小金井市と自分の地域を比較させ、今まで行ってきた事例から、自分は何のようなことをすればよいのか考える

○実習内容

- 8/9 オリエンテーション、小金井市の観光PRについての調べ学習① (図1 ブログ記事)
- 8/10 小金井市の観光PRについての調べ学習②、市内の探索①
- 8/12 「小金井カーブーツ」(フリーマーケット)の事前取材、市内の探索②
- 8/16 ブログ記事作成①、かき氷イベントの企画①
- 8/17 ブログ記事作成②、かき氷イベントの企画(試作)②
- 8/18 かき氷イベントの企画③、農園の野菜収穫
- 8/19 農園の手伝い、かき氷企画イベントの(買い出し)④
- 8/20 かき氷イベントの企画(試作)⑤、藍たたき染めイベント事前準備、報告準備①
- 8/21 藍たたき染めイベントの運営、サポート、報告準備②
- 8/23 報告準備③、報告発表会

○提案したこと、発信したこと、など

- ・「まるん通信」という小金井市の魅力やおすすめ情報を発信するブログ記事から、自分たちで考えた小金井市についてのPRとして、4つの記事を発信(図1)
- ・かき氷企画についての食材やトッピング、かき氷の量、価格設定について提案(図2)

○経験したこと、学んだこと、など

●小金井市の観光PRのため市内の探索、記事作成

- ・写真、文章の構成、量など細かいところから読みやすい記事にすることの難しさ(閲覧を増加させるためには、新しさ、見やすさ、信憑性が必要だということ)
- ・情報発信の重要性(アナログ、デジタル両方を用いることで多くの世代の閲覧が可能だということ)

●小金井カーブーツ(フリーマーケット)の主催者の方に事前にイベント内容の概要、想いなどを取材

- ・他の競争となる事業と企画が被らないような取り組みを考えること



●冷凍の食材を削り従来とは異なるアレンジかき氷のイベント企画についての調査、考察

- 新しいかき氷に挑戦するには、見た目や味、オリジナルの魅力を兼ね備える必要があること
- ・周りの環境、値段、買い手の特徴、世の中の流行なども考慮しなければならない、良い商品を作ることの大変さ、大切さ
- ・価格設定などの課題が出てからの対応、修正、改善策を考えることの難しさ
- ・意見交換というものは異なる意見同士で争ってしまうけれど、その分新しい発見をすることが出来るということ

今回の体験の中で、かき氷イベントの企画書の作成が一番難しかった

今までにない、オリジナルのかき氷について考える必要があり、商品が決定しても大きさ、値段などの細かいことも決めなければならなかったからである

甘いかき氷がある中で「わくわく都民農園」で開催することを踏まえ、農園と融合したかき氷としてトマトを使おうと提案した

また、デザートではなく食事の面としてでもトマトを活用できると考え、めんつゆをトッピングするなどのことを提案したが、味のバランスからトマトとはちみつを組み合わせた商品に決定した

一つの企画を考えるだけでも時間がかかり、細かい情報をまとめて形にすることは大変で成功させるには必要だということを学んだ

○今後の展開、今後の学び

- ・小金井市の魅力だけではなく、自分の地域の地域の特色を知る、魅力発信に貢献する
- 人との関わりやイベントの企画を通し、ポスターを作成する、SNSで発信
- 積極的にボランティア活動を行う
- ・コミュニケーション、企画作成、情報発信などの経験を次の課題やこれから社会に役立てる

○まとめ

今回のフィールドスタディーズで、社会に立つ上で必要な知識や経験、マナーなどを学ぶことが出来た。また、小金井市の魅力を伝えるためにはどんなことをすればよいのか試行錯誤し、入念に企画しているということが分かった。今回の活動から、それぞれの地域のオリジナリティや魅力に興味を持ったため、これからは自分の地域との交流を探していきたいと思った。

(図2 かき氷イベント企画書ポスター)

○担当教員コメント

○実習先コメント

かき氷イベント企画

トマトかき氷
トマト50% 氷50%
トッピング: はちみつ ¥500

新鮮

華やか

森の中のはじける甘いオアシス!

<その他の提案>

バナナ	トマト	アボカド
・トッピングなし	・トッピングなし	・牛乳
・はちみつ	・カルピス	・はちみつ
・カルピス	・めんつゆ	・砂糖
・めんつゆ	¥500	・練乳
¥500		¥600

日時: 9月11日(日) 午前11時~
場所: わくわく都民農園 小金井

一般社団法人小金井市観光まちおこし協会 まちと遊びまちから学ぶインターンシップ

- プログラム概要 : 小金井市観光まちおこし協会にて、まちに関する情報発信やイベント企画、イベントスタッフ等の実習を行った。
- 実習先 : 小金井市観光まちおこし協会（東京都小金井市）
- 実習先情報 : 小金井のまちおこしを進めることを目的とする協会。小金井市観光協会が法人化されたもので、2016年4月1日に設立した。
- 参加人数 : 2名
- 学部学科 : 人間科学科、人間科学科
- 実習期間 : 令和4年8月9日～8月23日
- 本学担当教員 : 飯田信夫（教育学科）

○はじめに

今回のフィールドスタディーズでは「イベントを通じたコミュニティ開発について学ぶ」という目標のもと、小金井に関する情報発信と地域社会の活性化に向けて取り組んでいることについて学び、体験した。

○実習内容

8月9日～12日

- ・小金井市/小金井市観光まちおこし協会の活動についてのガイダンス

8月10日

- ・小金井カーブーツ(フリーマーケット)事前取材のための準備

8月12日

- ・小金井カーブーツ事前取材

8月10日～12日

- ・観光（滄浪泉園、貫井神社、黄金の水、江戸東京たてもの園）

8月12日～21日

- ・ブログ記事の作成/編集

8月13日

- ・小金井カーブーツ（台風のため中止）

8月16日～20日

- ・藍のたたき染めワークショップ 準備

8月17日～19日

- ・わくわく都民農園小金井の手伝い

8月17日～20日

- ・かき氷イベントの企画

8月17日～23日

- ・まとめ発表への準備

8月21日

- ・藍のたたき染めワークショップの手伝い
- ・ブログ記事の投稿

8月23日

- ・まとめ発表

(トマトかき氷)



(トマトの収穫体験イベント)

(藍の葉たたき染めワークショップ)



○提案したこと、発信したこと

- ・ ブログ記事の作成/投稿
→観光スポットやまちなかで発見した情報について計4本の記事を投稿した
- ・ かき氷イベントの商品提案
→10月に行われるかき氷イベントで販売する、野菜を使ったかき氷の商品案をまとめ提案した。

○経験したこと、学んだこと

- ・ ブログ記事の作成/投稿
→文章表現の難しさ、表現が読み手に与える印象の大きさについて記事の編集を通して学んだ。

- ・ カーブーツ（フリーマーケット）
→非日常的な時間が、子供にも大人にとっても重要であると学んだ。わくわくした気持ちを引き出すイベント設定や企画の進め方についても教わった。

- ・ 藍のたたき染めワークショップ
→サポートスタッフとしてイベントに参加し、地域の一部として感じられるきっかけになると思った。また、気軽に参加できるコミュニティがあることで、地域への安心感に繋がると考えた。

- ・ かき氷イベント企画
→話題性、値段など、さまざまな要素のバランスをとりながら企画しなければならず、その難しさを学んだ。

○今後の展開、今後の学び

- ・ 自分の住んでいる地域の魅力や行われている取り組みについて知る
→ウルトラマン商店街
(円谷プロダクションの本社が商店街にあったことから名づけられた)
→ウルトラマン商店街スタンプ
→大蔵大根

○まとめ

FSを通して、地域コミュニティの強化が人々にとって如何に重要なのかを感じることができました。イベント企画についても、開催することでの地域や経済、人に与える影響を学ぶことができました。また、自分が暮らしている町について知ろうとするきっかけになり、どのような環境で育ったのかを考える良い機会になったと思います。

第一回かき氷イベント開催決定！

わくわく縁日

開催日:9月11日(日)
場所:わくわく都民農園小金井
時間:11時~15時

  おすすめ!
(トマトかき氷) 農園で収穫した野菜を使った
かき氷も販売しています

子供から大人まで、気軽にお立ち寄りください！！

住所:東京都小金井市本町6-5-3
TEL:042-208-5413
アドレス:<https://koganeikanko.jp/farm/introduction>

